

微細藻類に含まれる

抗酸化物質が

作物のストレスを

軽減!

あらゆる植物、生育ステージに使用できます。



未使用



パナケアMA使用

■成分

保証成分量	
窒素全量	3.5%
りん酸全量	1.2%
水溶性りん酸	1.1%
加里全量	3.0%
水溶性加里	2.5%



微細藻類液肥

パナケアMA Original

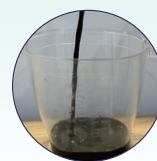
1ℓ



※表紙はイメージです。

特長

- 環境不良によるストレスを軽減して、活力を向上させます。
- 代謝機能を高め、収穫量を増加させます。
- 土壌灌注することで、水分や養分の保持能力や根からの吸収を促進します。
- 糖などの合成能力が高まり、味、香り、品質が向上します。
- 開花、着果、実つきを促進させます。
- 凍結などの寒さに強くなります。
- 微細藻類が葉緑素の含有量を増加させ、光合成を改善します。



性状:液体



1ℓ

パナケアMAに含まれる成分

必須L-アミノ酸20種類全てをバランスよく含む

アラニン、アルギニン、アスパラギン酸、アスパラギン、システイン、グルタミン酸、グルタミン、グリシン、ヒスチジン、イソロイシン、ロイシン、リジン、メチオニン、フェニルアラニン、プロリン、セリン、トレオニン、トリプトファン、チロシン、バリン

含まれるその他の機能成分

ペプチド類、ビタミン類、植物ホルモン類、ポリアミン類、飽和および不飽和脂肪酸類、ポリフェノール類、カロテノイド類および色素類、ミネラル類

パナケアMAに含まれる機能性成分(ポリフェノール類)

ポリフェノール

植物が持つ**抗酸化物質**の1種で、
活性酸素を「中和」する機能を持つ
※自然界に8,000種以上存在

活性酸素(ROS)

Reactive Oxygen Species

反応性の高い酸素含有化合物で、植物体内の代謝や免疫機能に重要な役割を果たす。
一方、**過剰に発生すると植物細胞を攻撃して傷つける原因に(酸化ストレス)**。

活性酸素

過酸化水素(H_2O_2)
一重項酸素($^1O_2$)
スーパーオキシド(O_2^-)
ヒドロキシラジカル($\cdot OH$)

活性酸素の量

植物への影響

少ない(正常)

生長を促すためのシグナルとして機能する。

一時的な上昇

病原菌を殺したり、防御スイッチを入れたりする。

過剰(ストレス)

葉が枯れる、生長が止まる、最悪の場合は枯死する。

活性酸素が発生する要因

1. 植物細胞内のミトコンドリアが
エネルギーを作る過程の中で発生
2. **強日光**、**極端な乾燥**、**高温・低温**、**塩害**

活性酸素がおよぼす影響とは...

1. 光合成機能の低下

活性酸素が葉緑体(クロロフィル)を破壊し、エネルギーが作れなくなる。

2. 細胞膜の破壊

細胞の壁や膜を攻撃し、形を保てなくさせる。

3. DNAの損傷

生長が止まったり、次世代の種子が作れなくなったりする。

施用方法

作物	施用時期	施用量・倍率
野菜類 花き類	定植後～収穫時まで毎週または隔週で3～6回 また薬剤散布時、環境ストレス時	葉面散布: 200～1,000倍
果樹類 柑橘類	作物の栽培体系に合わせ、萌芽期、結実期、成熟期にかけて3～5回 また薬剤散布時、環境ストレス時	
全作物	1作期を通じて2～5回 葉面散布との組み合わせも可能 また薬剤散布時、環境ストレス時	土壌灌注: 500～1,000倍、 0.5～1ℓ/10a

[pH] 3.6

*施用時期、施用量・倍率は目安のため栽培条件で変わることがあります。一度お試しのうえ、ご使用ください。

詳しい内容、
注意事項は
こちら

